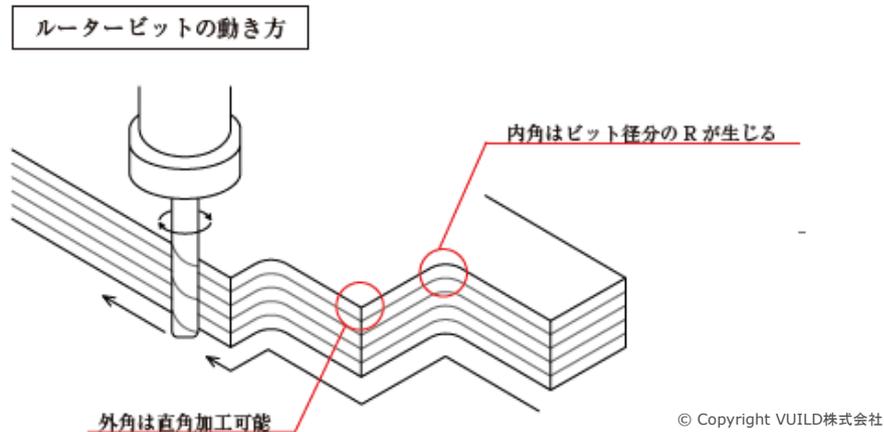


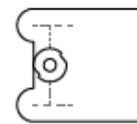
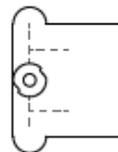
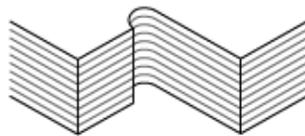
Shop bot加工の特徴

CNC ルーターによる加工の場合、内角（入隅）加工の際、エンドミル半径分(R)の丸みが生じるという特性があります。嵌め合いを前提とした設計物（構造部材など）の場合、この丸みはパーツの組み立ての際に干渉してしまいます。そのため、エンドミルを角頂点よりも逃がして加工するよう、角形状を変更する必要があります。



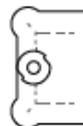
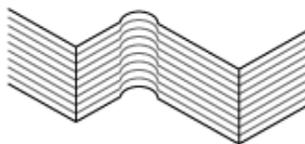
フィレットをつけずに加工すると、CAD 上では直角の線でも、実際の加工では角がビット径分丸められた状態で出力されます。上図のように、出隅部をなぞる際は直角がでますが、入隅部をなぞる場合はエンドミル半径分の丸みが生じます。そのため、接合部分ではフィレットをつけることとなります。フィレットの代表的な形状は「T ボーンフィレット」や「ドックボーンフィレット」です。

Tボーンフィレット



© Copyright VUILD株式会社

ドックボーンフィレット



© Copyright VUILD株式会社

□仕上がりイメージ

